



主食、崩壊危機。

アマニを探して ～少年が見た大地の真実～



TUFS Cinemaとは……

東京外国語大学TUFS Cinemaは、映画を通じ、世界の諸地域における社会・歴史・文化の理解を深めることを目的として行っています。

今回は、ケニアを舞台に気候変動の問題を描くドキュメンタリー作品を上映。日本の食糧問題をテーマにした短編ドキュメンタリーも同時上映し、作品とトークを通じてSDGsについての理解を深めます。

本上映会はオンラインイベント「WATCH」と連動したもので、作品の字幕翻訳やゲストトークの企画は学生が手がけています。

WATCH 2026
For a Sustainable Future

上映日時 2026年

7月19日【日】 2作品同時上映

13:00上映開始 (開場12:40、終了予定16:00)

場所 **東京外国語大学**
アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
(東京都府中市朝日町3-11-1、西武多摩川線「多摩」駅下車 徒歩5分)

プログラム

- ◆ 映画『主食、崩壊危機。』本編上映(11分)
上映後トーク(30分)
講演者 佐藤 洋紀(映像ディレクター)
- 13:55 上映開始
- ◆ 映画『アマニを探して～少年が見た大地の真実～』
本編上映(80分)
上映後トーク(45分)
講演者 大石 高典(東京外国語大学 准教授)

共催 東京外国語大学TUFS Cinema
日本映像翻訳アカデミー(JVTA)
東京外国語大学 大学の世界展開力強化事業(米国等)
一太平洋を『架橋』するブリッジ・パーソン養成プログラム(TP-Bridge)－
協力 東京外国語大学多言語多文化共生センター

入場無料
事前登録は
こちら



<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc260719form/>

※事前登録がなくてもご来場いただくことは可能ですが、事前にご登録いただくとスムーズにご入場いただけます。定員を超える場合は、事前登録を済ませた方を優先させていただきます。

[お問合せ]
東京外国語大学 広報・社会連携課
(TUFS Cinema担当)

TEL **042-330-5441**
平日9:00-17:00 (12:00-13:00は除く)
Email tufscinema@tufs.ac.jp

詳細は TUFS Cinema ウェブサイトにて
<https://www.tufs.ac.jp/tufscinema/>



上映日
2026年7月19日(日) 13:00上映開始(12:40開場、16:00終了予定)

SDGs を考える映画特集 2作品同時上映



主食、崩壊危機。

取材・撮影・編集:佐藤洋紀
プロデューサー:前夷里枝、長澤優花
受賞歴:Yahoo!ニュース ベスト エキスパート2026
「ドキュメンタリークリエイター部門」
2025年/日本/11分/日本語/英語字幕
英題 The Crisis of the Collapsing Staple Food

上映後解説
佐藤洋紀 (映像ディレクター『主食、崩壊危機。』)

あらすじ
日本の主食「米」。生産者の減少により、その基盤が揺らいでいる。持続可能な米作りを実現すべく、所得補償を求めて声を上げる農家と、田植えや水張りをしない新たな農法に踏み出す農家。現場の地道な模索からこれからの食のあり方を考える。

本作について
本作は、米づくりの危機をいたずらに煽るのではなく、所得補償を求める生産者と、合理化によって活路を探る担い手という対照的な二つの立場を通して、稲作が抱える行き詰まりを立体的に映し出す。主食の未来を制度や理念だけでなく、暮らしと生産の持続可能性の両面から問いかけてくる作品である。



アマニを探して ～少年が見た大地の真実～

監督:ニコール・ゴームリー、デブラ・アロコ
製作:ニコール・ゴームリー、ピーター・ゲッツ、
ムンガイ・キログ、キャリン・カボスト
撮影:キャンベル・ブリュワー
編集:テッサ・マルサム、デイヴィス・クーム
2024年/アメリカ、ケニア/80分/英語、スワヒリ語
英語・日本語字幕/原題 Searching for Amani

上映後解説
大石高典 (東京外国語大学大学院総合国際学研究院 准教授)

あらすじ
ジャーナリスト志望の少年が、ケニア最大級の自然保護区内で起きた父親の不可解な殺害事件の真相を追っていく。深刻な干ばつが広がる中で、犯人を探す彼の旅は、温暖化がもたらす世界の「見えにくい被害」を浮かび上がらせるものへと変化していく。

受賞歴: トライベッカ映画祭「最優秀新人ドキュメンタリー監督賞」
レインダンス映画祭「最優秀長編ドキュメンタリー賞」

本作について
父の死の真相を追う少年サイモンのまなざしを通して、ケニアで深刻化する干ばつや、土地をめぐる対立を静かに映し出していく。個人的な喪失から始まる物語が、やがて植民地主義の影や気候危機、自然保護と地域で暮らす人びとの生活をどう両立させるかという大きな問いへとつながっていく構成が印象に残る。



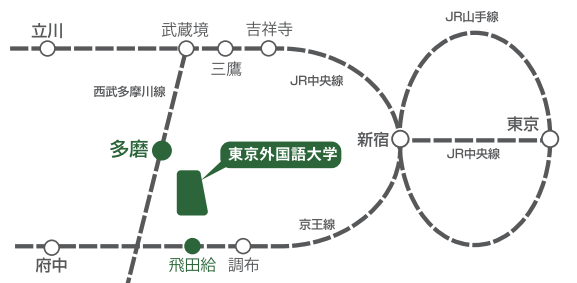
会場
東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
(東京都府中市朝日町3-11-1)

お問い合わせ
東京外国語大学 広報・社会連携課(TUFS Cinema担当)
TEL 042-330-5441 平日9:00~17:00 (12:00~13:00は除く)
Email tufscinema@tufs.ac.jp
Facebook @tufscinema.pr X(Twitter) @tufscinema

入場無料/事前登録制
<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc260719form/>



交通アクセス



- ◆JR中央線「武蔵境」駅のりかえ 西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分(JR新宿駅から約40分)
- ◆京王電鉄「飛田給」駅北口より多磨駅行き京王バスにて約10分「東京外国語大学前」下車